

2018年5月期 決算説明会

(証券コード：7713)

 シグマ光機株式会社

2018年7月12日(木曜日)

目次

1. 2018年5月期 決算概要

管理本部 経理部長

石井 康之

2. 2019年5月期 事業戦略 及び 通期見通し

執行役員 管理本部長

菊池 健夫

3. 2019年5月期 営業戦略

営業本部長

森 政之

4. 質疑応答

堅調な世界経済を背景に、研究機関向け・産業分野向けともに堅調に推移。
FPD、半導体、電子デバイス等のエレクトロニクス業界の設備投資関連が好調。

【百万円未満 切り捨て】	16/5期	17/5期	修正予算	累計実績	構成比	サマリー
	(前年同期比)	(前年同期比)	(前年同期比)	(前年同期比)		
売上高	7,466 (+11.8%)	7,846 (+5.1%)	8,600 (+9.6%)	8,956 (+14.1%)	100.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・教育機関、公的機関向け研究開発分野は堅調に推移 ・産業分野は設備投資、研究開発投資の回復傾向を背景に好調に推移 ・現地通貨ベースで、米国、欧州、アジアとも堅調に推移
営業利益	790 (+81.7%)	912 (+15.5%)	1,200 (+31.5%)	1,433 (+57.0%)	16.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・売上原価は、増収に伴い材料費等が増加も伸び率は抑制 ・販管費は、販売促進費や開発投資が増加 ・増収による固定費の吸収により大幅増益
経常利益	875 (+57.5%)	1,036 (+18.4%)	1,310 (+26.4%)	1,518 (+46.5%)	17.0%	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	596 (+82.5%)	746 (+25.1%)	890 (+19.2%)	1,005 (+34.7%)	11.2%	
1株当たり 当期純利益	79円25銭	99円11銭	122円54銭	138円49銭	—	
平均為替レート						
1USD円	120.16円	109.03円	111.00円	110.81円		
1人民元	18.88円	16.20円	16.50円	16.74円	—	
1ユーロ	132.36円	119.37円	128.00円	129.45円		

売上高

【百万円未満切り捨て】

製品区分	16/5期	17/5期	18/5期		
	累計実績	累計実績	累計実績	構成比	前年同期比
要素部品事業	6,323	6,599	7,060	78.8 %	7.0 %
光学基本機器製品	2,318	2,340	2,533	28.3 %	8.2 %
自動応用製品	1,320	1,389	1,172	13.1 %	▲15.6 %
光学素子・薄膜製品	2,684	2,869	3,355	37.5 %	16.9 %
システム製品事業	1,166	1,271	1,949	21.8 %	53.3 %
光学システム製品	1,166	1,271	1,949	21.8 %	53.3 %
消去	▲23	▲24	▲54	▲0.6 %	-
合計	7,466	7,846	8,956	100.0 %	14.1 %

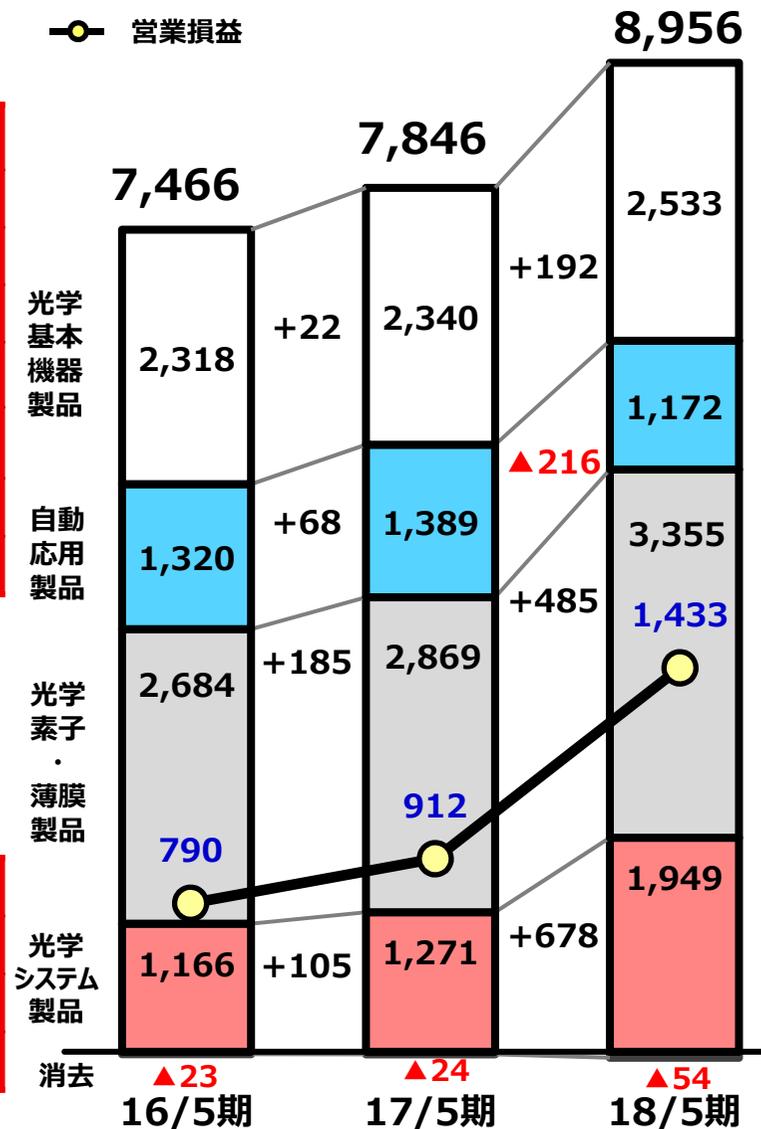
営業損益

【百万円未満切り捨て】

事業区分	16/5期	17/5期	18/5期	
	累計実績	累計実績	累計実績	前年同期比
要素部品事業	1,182	1,361	1,595	17.2 %
システム製品事業	51	23	370	1,450.2 %
消去	▲443	▲472	▲532	-
合計	790	912	1,433	57.0 %

売上高

【百万円未満切り捨て】

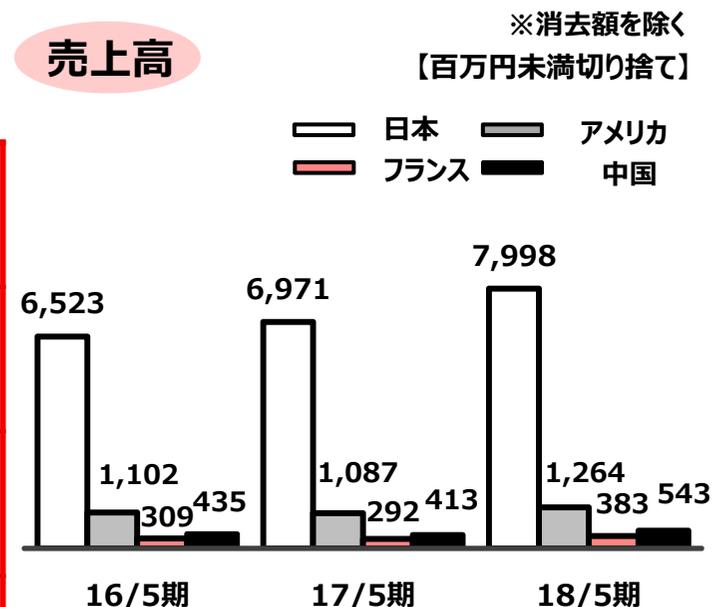


3

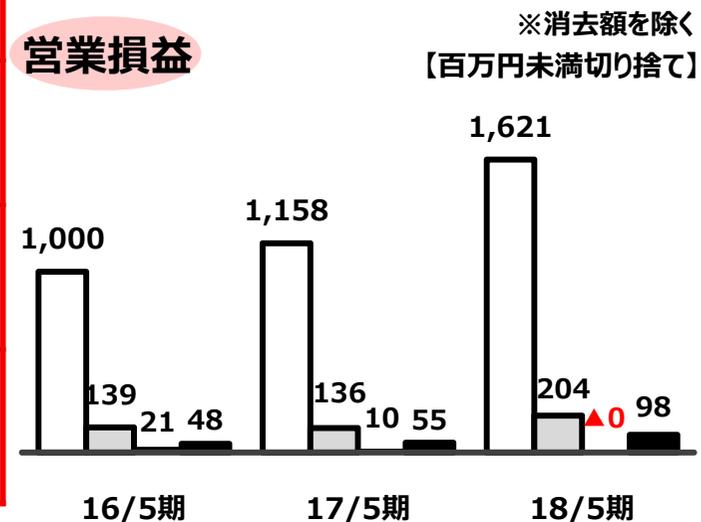
グループ所在地別売上高・営業損益(連結)

【百万円未満 切り捨て】	16/5期		17/5期		18/5期	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益
日本	6,523	1,000	6,971	1,158	7,998	1,621
アメリカ	1,102	139	1,087	136	1,264	204
フランス	309	21	292	10	383	▲0
中国	435	48	413	55	543	98
消去 又は全社	▲903	▲419	▲918	▲448	▲1,234	▲491
合計	7,466	790	7,846	912	8,956	1,433
平均為替レート						
1USドル		120.16円		109.03円		110.81円
1人民元		18.88円		16.20円		16.74円
1ユーロ		132.36円		119.37円		129.45円

売上高



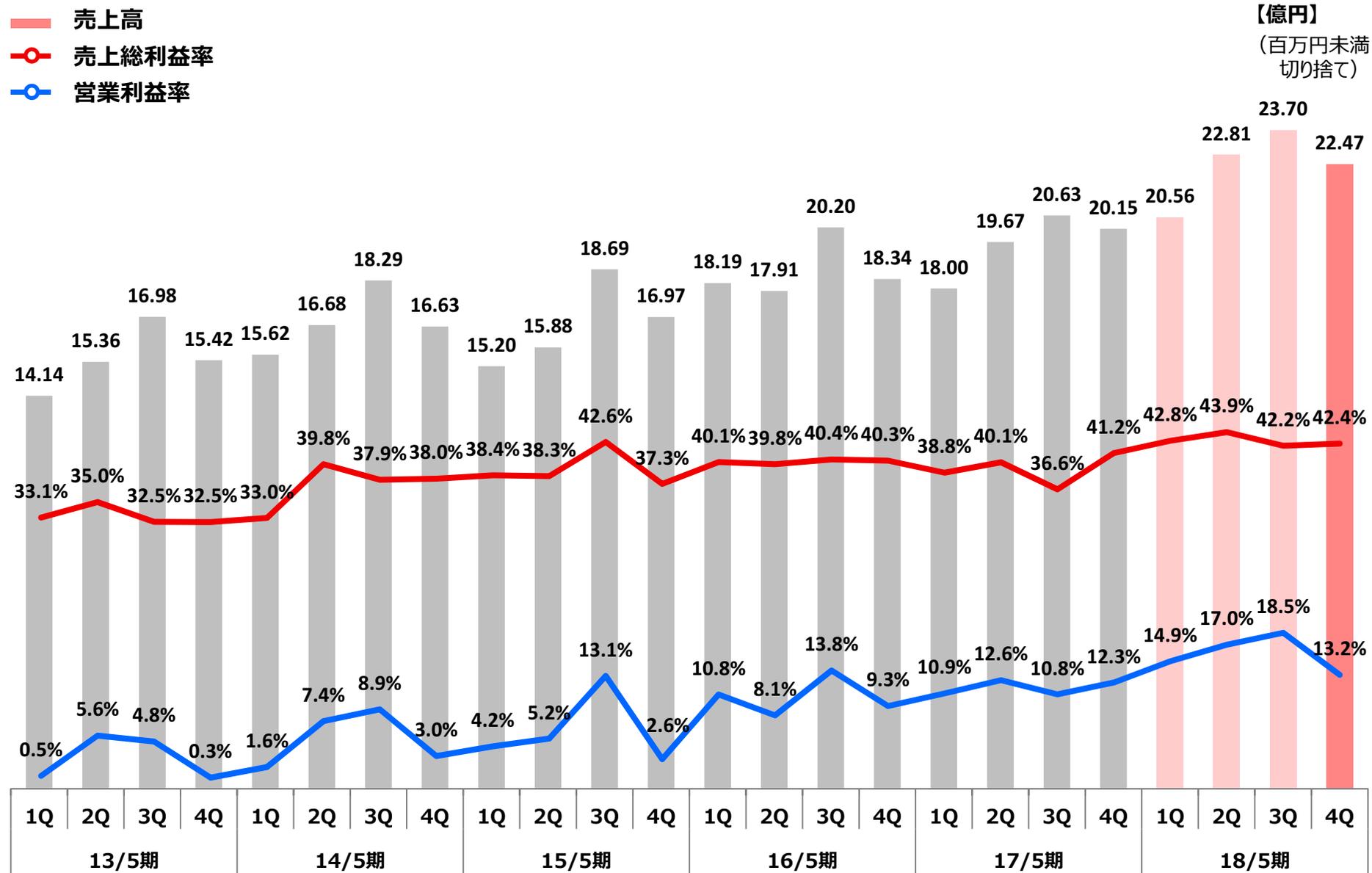
営業損益



世界経済の回復傾向を受け米国・アジア地域、欧州ともに堅調に推移。

北米地域は、堅調な景気動向の中、バイオ・メディカル分野・計測分野の需要は堅調。
 アジア地域は、中国・韓国、東南アジアの産業分野及び学術系研究開発分野は堅調。
 欧州地域は、学術系研究開発分野での高難度案件の取り込みによる市場深耕展開。

【百万円未満 切り捨て】	16/5期	17/5期	18/5期			サマリー
	累計実績 (構成比)	累計実績 (構成比)	累積実績	構成比	前年同期比	
売上高	7,466 (100.0%)	7,846 (100.0%)	8,956	100.0%	14.1%	
海外売上高	2,103 (28.2%)	2,156 (27.5%)	2,573	28.7%	19.3%	・現地通貨ベースで全エリアとも増収 ・連結の為替換算もユーロはプラス影響も、 ドル・元は想定範囲内
アメリカ	984 (13.2%)	956 (12.2%)	1,083	12.1%	13.3%	・バイオ、メディカル、半導体、計測分野向けの 組込み用要素部品は堅調に推移
アジア・ オセアニア	769 (10.3%)	885 (11.3%)	1,077	12.0%	21.7%	・スマホ、エレクトロニクス市場向けレーザ加工 機・検査装置への組込用レンズユニット等の 光学部品・モジュール・ユニットが好調に推移
ヨーロッパ	301 (4.0%)	270 (3.4%)	362	4.0%	34.1%	・学術系研究開発分野の高難度案件の取り 込みを強化し認知度とプレゼンスを向上 ・ウェブによるEコマース展開を強化
その他	48 (0.6%)	44 (0.6%)	49	0.6%	10.3%	



6 売上原価の状況(連結)

先行調達・計画生産等により売上原価率は前年同期比3.6pt改善。

増収に伴い材料費等は増加。特注リピート案件・OEM案件等の需要増加に伴い、利益率の高い製品にポートフォリオが変化。調達力の強化、生産性の向上を推進。

【百万円未満 切り捨て】	16/5期		17/5期		18/5期			サマリー
	累積実績	構成比	累積実績	構成比	累積実績	構成比	前年同期比	
売上高	7,466	100.0 %	7,846	100.0 %	8,956	100.0 %	14.1 %	
材料費等	2,596	34.8 %	2,870	36.6 %	3,089	34.5 %	7.6 %	・特注リピート品・OEM案件等の外部調達は増加も調達力を一層強化 ・先行調達により在庫は増加傾向
労務費	1,425	19.1 %	1,411	18.0 %	1,555	17.4 %	10.2 %	・需要増加により残業時間が増加傾向 ・収益向上により賞与支給額が増加
減価償却費	256	3.4 %	232	3.0 %	240	2.7 %	3.3 %	・設備投資の見直し・順延等により横ばい
その他	188	2.5 %	259	3.3 %	237	2.7 %	▲8.5 %	・水道光熱費、支払派遣費の増加 ・支払手数料の減少
売上原価	4,467	59.8 %	4,773	60.8 %	5,122	57.2 %	7.3 %	・光学素子製品、光学システム製品などの高付加価値製品の売上伸長が寄与
売上総利益	2,999	40.2 %	3,073	39.2 %	3,833	42.8 %	24.7 %	

全社的な経費削減活動により販管費率は前年同期比で0.7pt改善。

積極的な営業展開により販売促進費は増加。収益向上により人件費も増加。
 新規設備投資の一部計画の見直し・順延などに伴い減価償却費はやや減少。
 技術本部を新設し開発人員増加も、開発案件精査により試験研究費はやや増加。

【百万円未満 切り捨て】	16/5期		17/5期		18/5期		前年同期比	サマリー
	累積実績	構成比	累積実績	構成比	累積実績	構成比		
売上高	7,466	100.0 %	7,846	100.0 %	8,956	100.0 %	14.1 %	
販売促進費	345	4.6 %	307	3.9 %	386	4.3 %	26.0 %	・見積作業費の増加 ・企業訪問等の営業活動の強化
広告宣伝費	82	1.1 %	87	1.1 %	84	0.9 %	▲3.6 %	・カタログ配布の一巡による減少 ・海外展示会の出展費用の増加
人件費	879	11.8 %	926	11.8 %	996	11.1 %	7.6 %	・収益向上による賞与支給額の増加 ・役員報酬の減少
減価償却費	60	0.8 %	49	0.6 %	46	0.5 %	▲5.9 %	・設備投資の見直し・順延等により減少
試験研究費	307	4.1 %	272	3.5 %	300	3.4 %	10.3 %	・研究開発案件の絞り込みの実施 ・開発部員の増員による増加
その他	533	7.1 %	518	6.6 %	586	6.5 %	13.2 %	・支払手数料（監査報酬）の増加 ・旅費交通費や支払派遣料の増加
販売管理費	2,208	29.6 %	2,160	27.5 %	2,400	26.8 %	11.1 %	
営業利益	790	10.6 %	912	11.6 %	1,433	16.0 %	57.0 %	

【百万円未満切り捨て】	16/5期 期末	17/5期 期末	18/5期 期末	前期末比	サマリー
現金・預金	2,875	3,212	2,891	▲10.0 %	・自己株式の取得による減少
受取手形・売掛金	1,897	1,859	1,896	2.0 %	・売上高の増加による売掛債権の増加
電子記録債権	172	445	808	81.5 %	
棚卸資産	2,186	2,133	2,254	5.7 %	
その他流動資産	876	1,335	1,310	▲1.9 %	
有形・無形固定資産	3,010	2,927	2,898	▲1.0 %	・減価償却費による減少
投資等	3,328	3,163	3,279	3.7 %	
資産合計	14,347	15,077	15,339	1.7 %	
支払手形・買掛金	927	993	1,091	9.8 %	
短期借入金	183	180	199	10.4 %	
その他流動負債	661	805	816	1.4 %	・未払金（役員退職慰労金）の減少 ・未払法人税の増加
長期借入金	66	187	255	36.4 %	・借換のタイミングによる増加
その他固定負債	835	729	749	2.7 %	
純資産合計	11,673	12,181	12,228	0.4 %	・自己株式の取得による減少 ・利益剰余金の増加
負債・純資産合計	14,347	15,077	15,339	1.7 %	

【百万円未満切り捨て】	16/5期 通期累計	17/5期 通期累計	18/5期 通期累計	サマリー (当期中の増減額の要因)
営業活動	995	826	986	<ul style="list-style-type: none"> ・税引前利益による増加 ・減価償却費による増加 ・仕入債務の増額による増加 ・法人税等の支払いによる減少 ・売上債権の増額による減少
投資活動	▲467	▲536	63	<ul style="list-style-type: none"> ・定期預金の満期解約による増加 ・有形/無形固定資産の取得による減少
フリーキャッシュフロー	527	290	1,049	
財務活動	▲396	▲122	▲941	<ul style="list-style-type: none"> ・自己株式の取得による減少 ・配当金の支出による減少
現金及び 現金同等物の期末残高	2,650	2,799	2,859	

目次

1. 2018年5月期 決算概要
管理本部 経理部長 石井 康之
2. 2019年5月期 事業戦略 及び 通期見通し
執行役員 管理本部長 菊池 健夫
3. 2019年5月期 営業戦略
営業本部長 森 政之
4. 質疑応答

◆スローガン（2015年から継続）

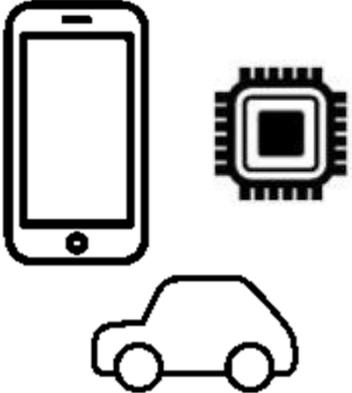
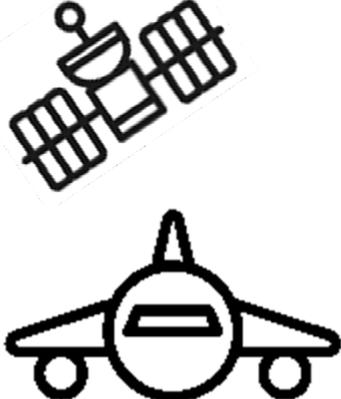
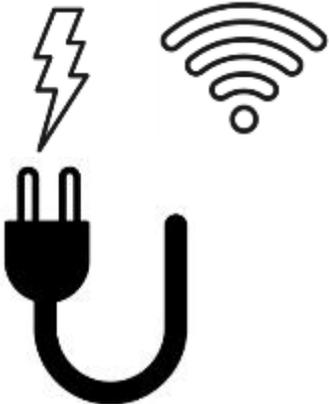
「アジアNo. 1」から

「世界No. 1」へ

◆事業戦略 基本方針

- お客様満足度の最大化
- Q・C・D+R+Sを世界レベルへ
- 技術伝承・融合・総合力

光の時代が来ています。

			
エレクトロニクス	ライフサイエンス	航空・宇宙	その他

- 精密微細加工
- 複雑形状加工
- 難削材加工
- 精密検査技術

- 微小分子観察
- 超高解像画像
- 生体レーザー治療

- 精密測定
- 精密計測
- 耐環境性能

- 超高速通信
- 新エネルギー
- 先端研究分野
- etc

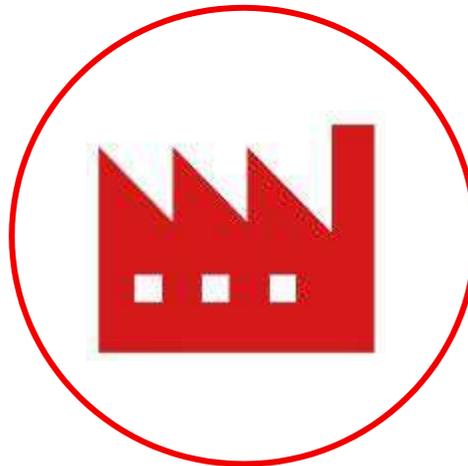
持続的に成長する基盤づくり

マーケット



- ソリューション提案強化
- 海外展開の基盤強化
- ECマース&在庫管理

ものづくり



- 製品ラインナップの拡充
- 設備増強&先端生産技術
- 技術融合&多能工化

コミュニケーション



- 社内管理体制の強化
- 協力パートナーと連携
- グローバル人材の育成

産業分野の堅調な設備投資・研究開発投資を背景とした増収増益計画

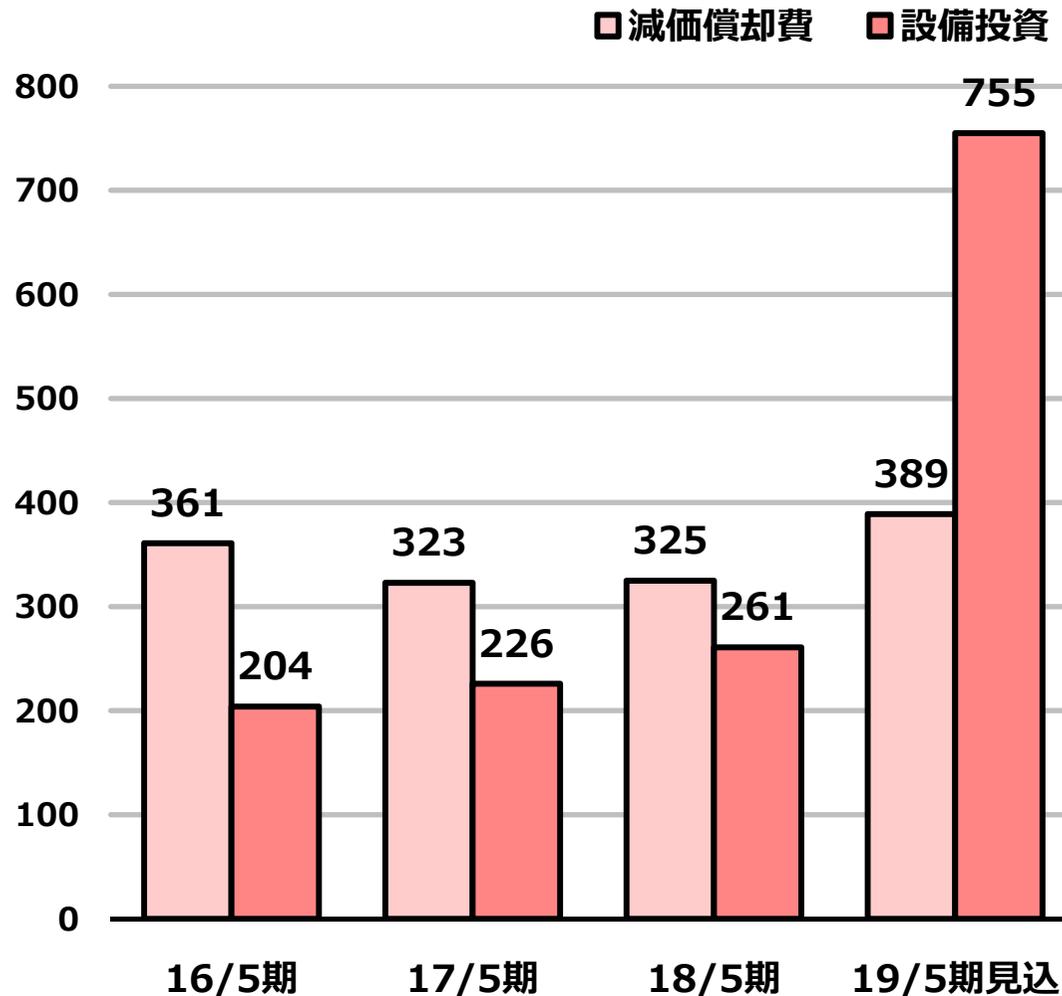
ターゲットとする産業分野の設備投資は堅調であり、受注動向は底堅く推移すると見込む。当社においても研究開発投資や設備投資を予算計画に盛り込むも、利益面は堅調に推移。

【百万円未満 切り捨て】	17/5期		18/5期		19/5期				通期増減 (前年同期比)	
	通期実績	構成比	通期実績	構成比	上期予算	下期予算	通期予算	構成比	差額	増減率
売上高	7,846	100.0 %	8,956	100.0 %	4,580	4,780	9,360	100.0 %	403	4.5 %
営業利益	912	11.6 %	1,433	16.0 %	785	835	1,620	17.3 %	186	13.0 %
経常利益	1,036	13.2 %	1,518	17.0 %	825	870	1,695	18.1 %	176	11.6 %
親会社株主に 帰属する 当期純利益	746	9.5 %	1,005	11.2 %	530	575	1,105	11.8 %	99	9.9 %
1株当り 当期純利益	99円11銭	-	138円49銭	-	74円83銭	-	156円02銭	-	-	-

当期通期見込みの算定は、為替レート(期中平均)として1USドル=105.00円、1ユーロ=125.00円、1人民元=16.50円で計算しております。

設備投資・減価償却費

【百万円未満切り捨て】



補足説明

【百万円未満切り捨て】

◎ 主要設備投資

○ 16/5期

- ・光学素子設備増強投資 0.4億円
- ・検査測定機器投資 0.2億円
- ・研究開発設備投資 0.2億円
- ・上海シグマ光機設備投資 0.5億円

○ 17/5期

- ・光学素子設備増強投資 0.9億円
- ・検査測定機器投資 0.2億円
- ・基本機器設備増強投資 0.2億円
- ・情報システム投資 0.3億円

○ 18/5期

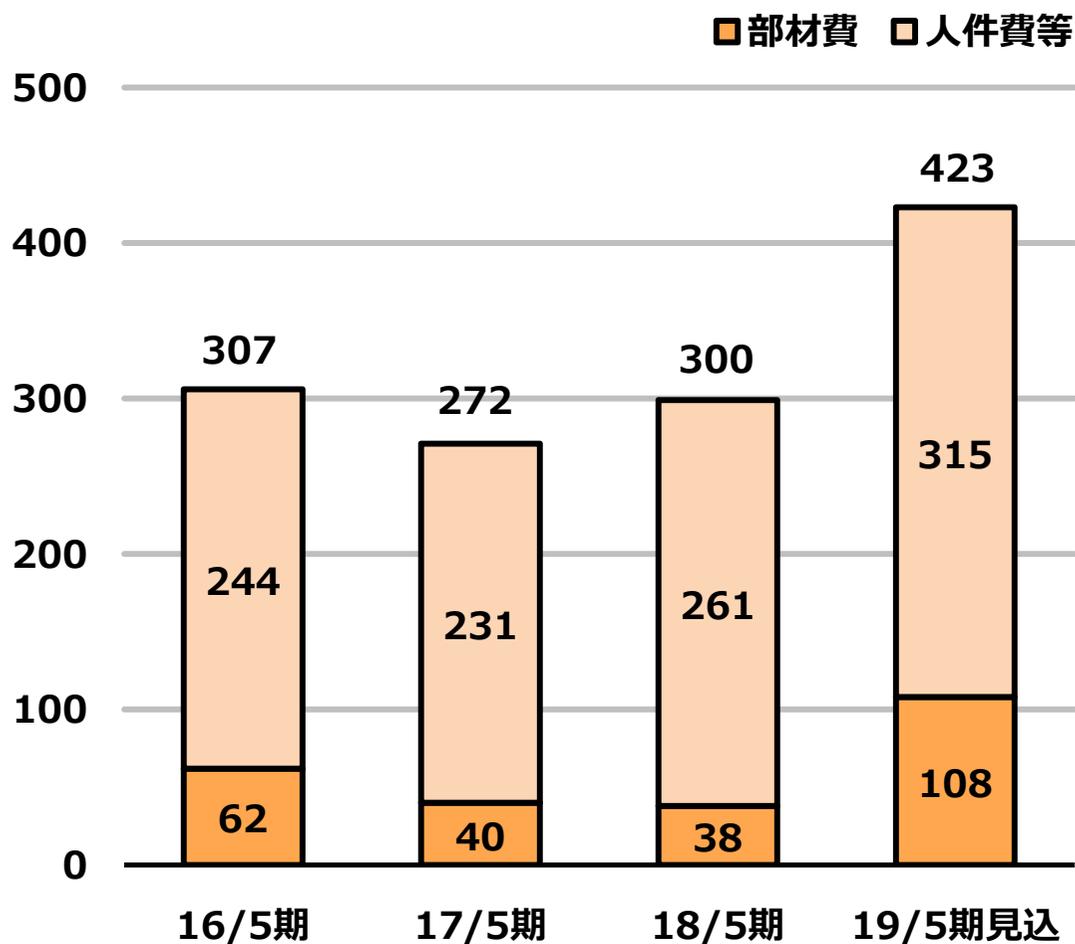
- ・光学素子設備増強投資 0.8億円
- ・研究開発設備投資 0.3億円
- ・情報システム投資 0.4億円
- ・上海シグマ光機設備投資 0.2億円

○ 19/5期見込

- ・光学素子設備増強投資 2.8億円
- ・能登工場設備増強投資 1.2億円
- ・情報システム投資 0.6億円
- ・日高工場拡張投資 0.5億円
- ・上海シグマ光機設備投資 0.4億円

研究開発費

【百万円未満切り捨て】



補足説明

【百万円未満切り捨て】

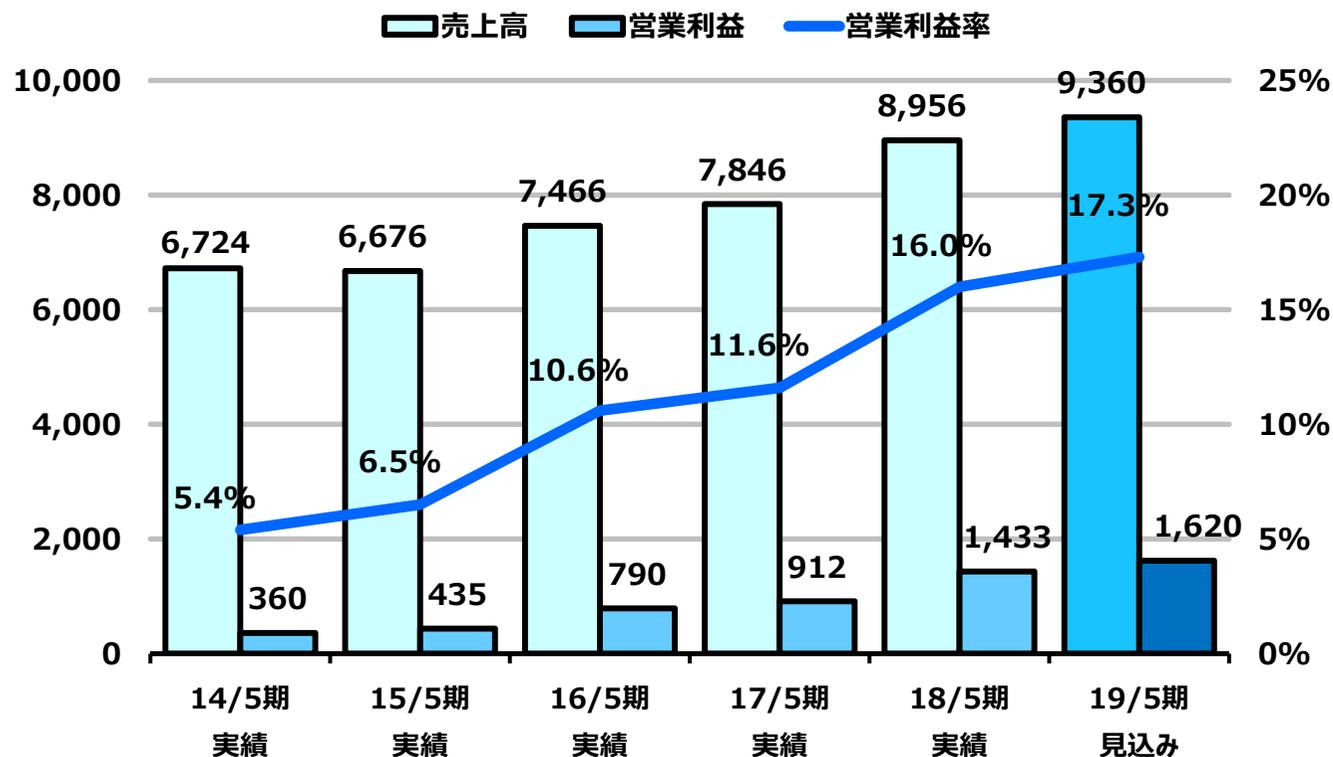
○ 部材費

	自社	産学官連携
16/5期	59	3
17/5期	39	1
18/5期	38	0
19/5期見込	108	0

○ 人件費等

	人件費等	研究開発費 (人件費等込) 売上高比率
16/5期	244	4.1%
17/5期	231	3.5%
18/5期	261	3.4%
19/5期見込	315	4.5%

【百万円未満切り捨て】



2019年5月期通期サマリー

- ① 売上高の増加
 - 産業分野の投資意欲は堅調
 - 海外市場は増加見込み
 - ② 売上原価率の抑制
 - 材料費・外注費率は増加
 - 先行手配・計画生産による原価低減
 - 生産体制強化による量産対応
 - ③ 販売管理費率の増加
 - 販売促進費・広告宣伝費の増加
 - 設備費・試験研究費の増加
- <販売展開の強化>
- 成長産業分野でのリピート取込み
 - 高精度光学モジュールでの需要創出
 - ウェブ（Eコマース）での受注強化

* 強固な財務体質を堅持 (連結)

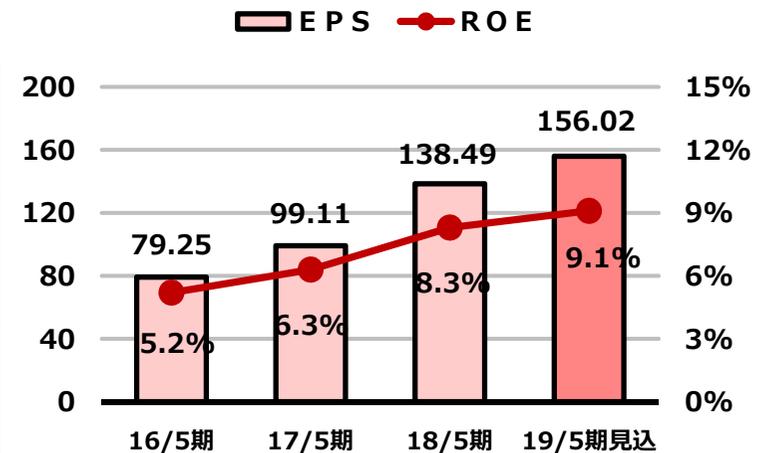
- ① 自己資本比率 17/5期 : 80.5% → 18/5期 : 79.4%
- ② 利益剰余金 17/5期 : 6,420百万円 → 18/5期 : 6,828百万円
- ③ 純有利子負債 17/5期 : ▲2,845百万円 → 18/5期 : ▲2,437百万円

連結EPS・ROE

	16/5期 通期	17/5期 通期	18/5期 通期	19/5期 通期見込
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	596	746	1,005	1,105
1株当たり 当期純利益 (円) (EPS)	79.25	99.11	138.49	156.02
自己資本 当期純利益率 (%) (ROE)	5.2	6.3	8.3	9.1(※)

※2018年5月期末の自己資本額を元に試算しております。

【単位：円】

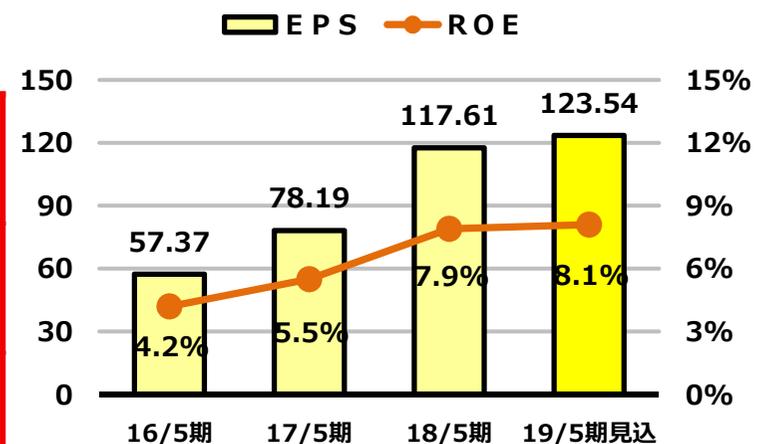


単体EPS・ROE

	16/5期 通期	17/5期 通期	18/5期 通期	19/5期 通期見込
当期純利益 (百万円)	432	588	854	875
1株当たり 当期純利益 (円) (EPS)	57.37	78.19	117.61	123.54
自己資本 当期純利益率 (%) (ROE)	4.2	5.5	7.9	8.1(※)

※2018年5月期末の自己資本額を元に試算しております。

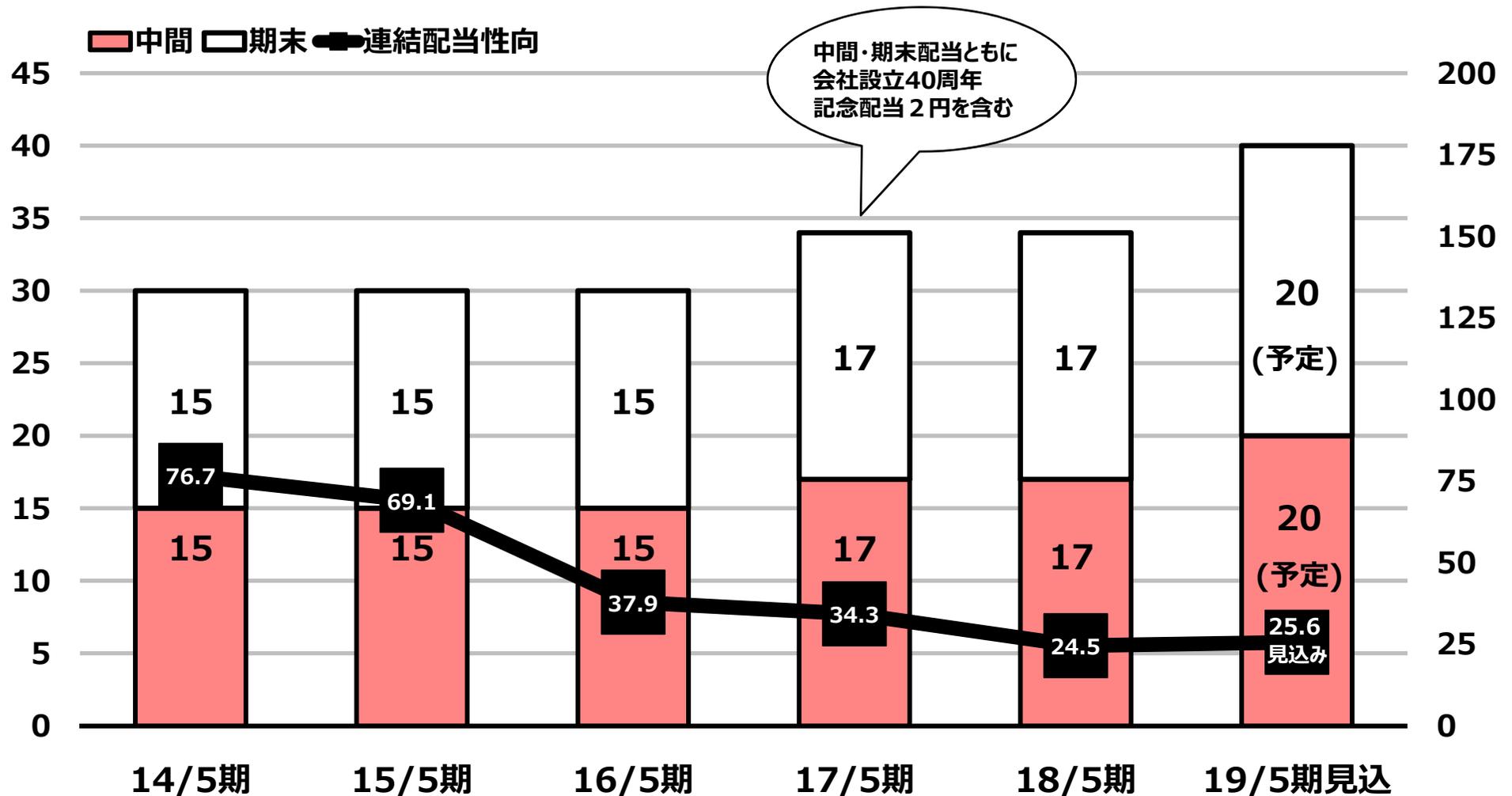
【単位：円】



継続的・安定的な配当を維持

【単位：円】

【単位：％】



目次

1. 2018年5月期 決算概要
管理本部 経理部長 石井 康之
2. 2019年5月期 事業戦略 及び 通期見通し
執行役員 管理本部長 菊池 健夫
3. 2019年5月期 営業戦略
営業本部長 森 政之
4. 質疑応答

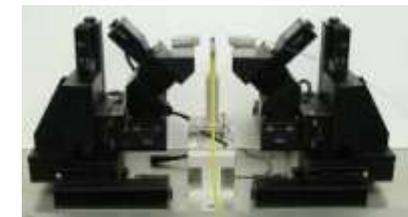
1 マーケットと主要製品

- 官公庁・研究機関 : 『お客様の欲しいを形に』製品群・No.1 Products
・コアユニット顕微鏡等

- スマートフォン関連 : レーザ加工機・対物レンズ・加工鏡筒・自動ステージ等



- 車・センシング関連 : 光学モジュール・特注光学素子等
- 防衛・航空宇宙関連 : 耐放射線レンズ・光学ユニット・光学素子等
- 医療フォトンクス関連 : 医療用レーザシステム・医療用光学システム等
- 半導体関連 : 検査用装置・高精度光学ユニット・自動ステージ等
- 通信関連 : ファイバー/導波路用自動調芯装置
- 国家PJ関連 : 光学ユニット・スーパーミラー・超高真空高安定ホルダ等



① OEM・ODM案件創出

- ・お客様の要求に合った仕様・価格・短納期対応によるリピート製品創出
- ・PV展で実機説明と提案による新規OEM・ODM案件創出
- ・実機評価を積極的に提案、お客様との協業による案件創出
- ・技術者によるソリューション提案による案件創出

② チャレンジ案件(オンリーワン製品)獲得

- ・国家PJ等の高難易度案件実績評価により引き合い増加
- ・お客様との協業による世界No1製品の実現

③ 新規潜在顧客層開拓による受注ベース底上げ

- ・お客様が製品選定が容易で手間がかからないWeb機能を追加

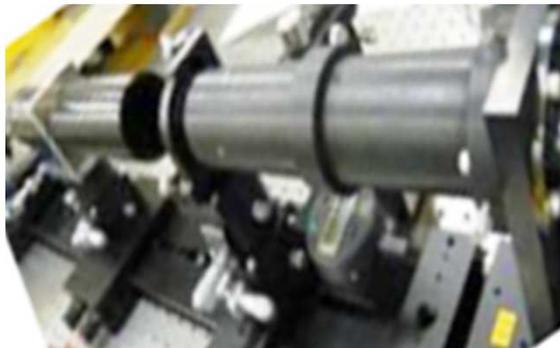
④ お客様満足度向上

- ・お客様が製品を選定しやすいカタログの発刊

- お客様の事業所・研究室でPV展を実施。
開発設計・購買部門に特注対応力を説明
⇒ OEM・ODM案件を創出



■ 国内・海外から当社技術力に期待した高難易度案件 (国家PJ入札案件含む) の製品を具現化



高精度光学ユニット

設計技術
製造技術
評価技術



高精度オプティカル・キャビティ

スーパーミラー
接合技術



NASA/CNES [「Mars2020計画」](#)

火星探査機搭載予定の
SuperCam検出器用光学素子

※各国から天文・航空宇宙向け
案件の引き合い増加

Webにユーザ登録機能を追加 Webからのご注文が手間がかからず簡単になりました。



SIGMAKOKI シグマ光機株式会社

ユーザー登録 ログイン 日本語 ENGLISH 簡体

製品情報 HOME サポート情報 資料請求 お問い合わせ 会社情報 サイトの見方

製品検索 品名/品番 SEARCH カタログコード検索 SEARCH 会社 HOME IR 情報 採用情報

お問い合わせはこちらまで

お問い合わせシート一覧

新製品情報はこちら

① 重要なお知らせ

② 製品保証について

③ FAQ

★ 営業情報

📅 営業カレンダー

👥 コミュニティ

HOME > 新規ユーザー登録 (無料)

新規ユーザー登録 (無料)

- ユーザー登録後に使える便利な機能
 1. ご注文や見積もりの確認
WEBカタログ経由からのご注文や見積もり内容をマイページからご確認いただけます。一度ご登録いただいた情報は保存され、次回以降もスムーズにご利用いただけます。
 2. 購入履歴からカートへ入れることも可能です。

購入履歴画面サンプル - クリックして拡大

第2弾

“Educationパンフレット” Smart SKの発刊

第1弾 光学素子版が製品選定に役立ち、大好評
第2弾 OPTO-MECHANICAL版を発刊

→さらなるお客様満足度向上

英語・中国語バージョンも展開



OPTO-MECHANICAL版

INDEX	
OPTO-MECHANICAL COMPONENTS	
ミラーホルダー	P14-5
レンズホルダー	P16-7
プリズムホルダー	P18
偏光子ホルダー	P19
レーザホルダー	P19
ビーム splitter ホルダー	P19
フィルタホルダー	P110
シャッター	P110
ファイバーホルダー	P111
モーターホルダー	P112
異径同軸ホルダー	P112
HELDERS AND MOUNTS	
顕微鏡ステージ	P118
顕微鏡ステージ	P120
ユニビスステージ	P121
OPTICAL POST ASSEMBLIES / BASES / OPTICAL SAILS / SPACERS, etc.	
光学ポストアセンブリ	P113
スペーサー	P114
架台/スタック	P115
ロード/ボール	P116
異径同軸ベース	P117-P118
MANUAL STAGES	
顕微鏡ステージ	P118
顕微鏡ステージ	P120
ユニビスステージ	P121
MOTORIZED MOTION CONTROL	
顕微鏡ステージ	P122
コントローラ	P123



光学素子版

■ アジア地域（中国・韓国・台湾・シンガポール）

- ・スマホ関連生産装置向け、新規顧客・対物レンズ等、大幅な需要の増加
- ・半導体関連生産装置向け、高精度光学ユニット等、大幅な需要の増加
- ・中国大学官公庁からカタログ品の引合増加

■ 北米地域

- ・バイオ・メディカル、レーザ測定、セミコン関連のOEMリピートが伸長
- ・国家PJ 等の大口・高難易度チャレンジ案件の実績増加

■ EU圏

- ・国家PJ 等の大口・高難易度チャレンジ案件の実績増加
- ・レーザ装置等への組込み用OEM製品の実績増加

4 第44期足元の概況

① スマホ設備投資が堅調

光学ユニット・対物レンズ等



② レーザ加工機用途装置・組込製品受注が堅調

レーザ加工機・光学ユニット・対物レンズ

・自動ステージ・光学素子等



③ 半導体設備投資が堅調

高精度光学ユニット・光学素子・光学素子ホルダ



④ 防衛関連・航空宇宙関連のリピートおよび新規案件創出

長期的に安定した継続受注

⑤ センシング関連向けリピートおよび新規案件創出

目次

1. 2018年5月期 決算概要
管理本部 経理部長 石井 康之
2. 2019年5月期 事業戦略 及び 通期見通し
執行役員 管理本部長 菊池 健夫
3. 2019年5月期 営業戦略
営業本部長 森 政之
4. 質疑応答

ご清聴ありがとうございました。

本説明会にて提供させていただいた情報および本資料内に記載されている当社グループに関する業績予想、方針、経営戦略、目標等に関しては、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。

よって、今後様々な要因により将来の見通しに関する記載事項や予想数値等が変化することが考えられます。すなわちこれら記載事項や予想数値等はその性質上、将来そのとおりに実現するという保証は致しかねますのでご留意ください。